

令和7年度 公共事業 事後評価

令和元年度完了

砂防事業

砂防河川 秋山沢
秋山

川上村

長野県 建設部



1号堰堤上流より下流の保全対象を望む

事業の概要

事業計画時の課題・背景及び事業経緯

- ◆ 砂防河川 秋山沢は、川上村東部の千曲川に流入する溪床勾配6度の溪流で河川で、下流は土砂災害警戒区域に指定されている。
- ◆ 平成19年の台風9号により溪流内では土砂崩落、倒木が発生。巨礫、不安定堆積物、倒木が堆積しており住民からは土砂災害対策の強い要望がある。
- ◆ 下流の保全対象には人家9戸、避難場所となる小学校、保育園、県道、村道がある。
- ◆ 砂防施設整備によりこれらの課題を解消し、住民の安全・安心を確保すべく平成23年度に事業着手した。

【事業実施前の状況】

溪流内の荒廃状況



保全対象

事業目的

崩壊地や溪流に堆積した不安定な土砂や倒木が、下流へ流出する土砂災害から人家や公共施設（道路・避難所）を守る目的とした事業である。

事業の概要

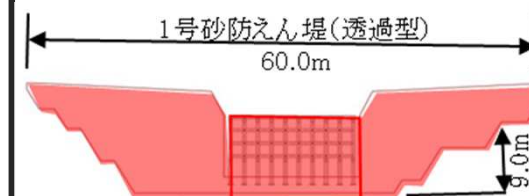
【位置図】



【平面図】



【1号堰堤構造図】



【1号堰堤】



【全体計画】

砂防堰堤 : 2基

堰堤規格

1号堰堤 H= 9.0m L=60.0m

2号堰堤 H=12.5m L=77.0m

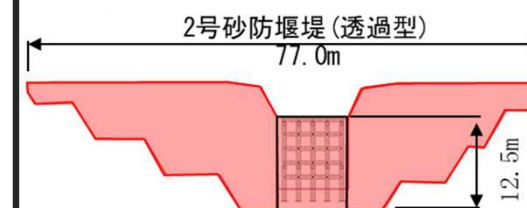
事業期間 : 平成22～令和元年度

全体事業費 : 8億8780万円

【2号堰堤】



【2号堰堤構造図】



事業概要の変更経緯

事業概要の変更経緯

	当初計画 (平成22年新規評価)		最終実績 (令和元年完了時)
事業期間	平成22～29年度		平成22～令和元年度
総事業費	9億1900万円		8億8780万円
費用対効果	B/C = 2.52		B/C = 2.62
事業概要	砂防堰堤 2基		砂防堰堤 2基

変更理由（事業期間の延長、総事業費の減）

- ◆ 事業着手後の用地買収の難航により、事業期間が延長となった。
- ◆ 各年度の補正により大型発注ができたことにより、コストが縮減され、事業費が減となった。

①－1 事業効果の発現状況（直接効果）



土砂災害から人命財産を守る

- 砂防堰堤を2基建設することにより、下流域の人家9戸や避難場所の川上第二小学校や保育園等を土砂災害から保全。
- 災害発生時に避難・救助をはじめ、物資供給等の応急活動のために、緊急輸送路として指定されている主要地方道川上佐久線を土砂災害から保全。
- 令和元年度の台風19号を含めても施設完成後から現在まで土石流の発生はない。

①－2 事業効果の発現状況（間接効果）

安心できる暮らしと防災意識の向上

- 近年の災害事例を交えた事業説明や土砂災害の講習会を行うことにより、土砂災害の危険性が理解され、地域住民の防災意識の向上が図られた。



② 自然環境・生活環境への影響

- 透過型砂防堰堤とすることにより、溪流の分断をなくし、溪流環境への影響を低減した。



1号堰堤（透過型）



2号堰堤（透過型）

③ 施設の維持管理状況

- 出水期前に、職員による施設のパトロールを実施、堰堤堆砂状況等を確認。



1号堰堤 施設点検



2号堰堤 施設点検



管理用道路 法面崩壊状況 経過観察とする

④ 地域住民等の評価

- ◆ 下流域の住民が安心して暮らせるために必要不可欠な事業であり、堰堤が完成したことで大雨が降った時も鉄砲水の心配がなくなった。（地区役員）
- ◆ 令和元年の台風19号の災害でも千曲川は災害が起きたが、沢からの土砂流出は見られなかった。（近隣住民）
- ◆ 土砂災害はいつどこで発生するのかわからないので、山の中に堰堤ができたたということは、沢の近くに住む者にとって大きな安心につながる。（近隣住民）
- ◆ 近隣には未だ土石流の危険がある渓流があるため、地域住民の安心・安全な生活の確保のため、引き続き砂防事業を推進していてもらいたい。（地区役員）

事後評価結果

総合評価

評価項目	評価	評点	評価指標
① 事業効果の発現状況（直接的効果、間接的効果）	B	55点	A：目的を超えた達成【70点】 B：目的を達成【55点】 C：目的を概ね達成【40点】
② 事業実施に伴う自然環境・生活環境等の変化	B	5点	A：計画時よりも環境がよくなった【10点】 B：大きな影響なし【5点】 C：影響が大きい【0点】
③ 施設の維持管理状況	B	5点	A：地域の人たちも参加し適切に実施【10点】 B：施設管理者が適切に実施【5点】 C：やや不十分【0点】 D：不適切【0点】
④ 地域住民等の評価	A	10点	A：評価が高い【10点】 B：中程度の評価【5点】 C：評価が低い【0点】
総合評価	A	75点	A：75点以上 C：49点以下 B：74点～50点

改善措置の必要性

なし

今後の取組及び同種事業への活用と課題

- 近年、豪雨による土砂災害が多発しているが、施設整備による安心感は当事業でも地元住民から評価されているため、事業の一層の推進が必要となる。
- 用地取得の関係で事業期間の延長が見られる場合があるが、着手前に、より一層入念な調査・事業説明を行うことにより、事業の遅延を防ぐことが必要。

事後評価結果

【建設部公共事業評価委員会の意見】

砂防事業の実施により安全を確保するという事業の目的を達成しており、地域住民の評価が高いこと等から「総合評価 A」が妥当と判断する。

【長野県公共事業評価委員会の意見】

建設部公共事業評価委員会の意見を妥当と判断する。

県の評価案

A

評価監視委員会意見

妥当

評価の決定

A